

デプロイメント プロセス

ワークフローベースのアプリケーションのデプロイは、他の GeneXus アプリケーションと同様に IDE から行います。プロセス全体は 3 つの段階で構成されています。:

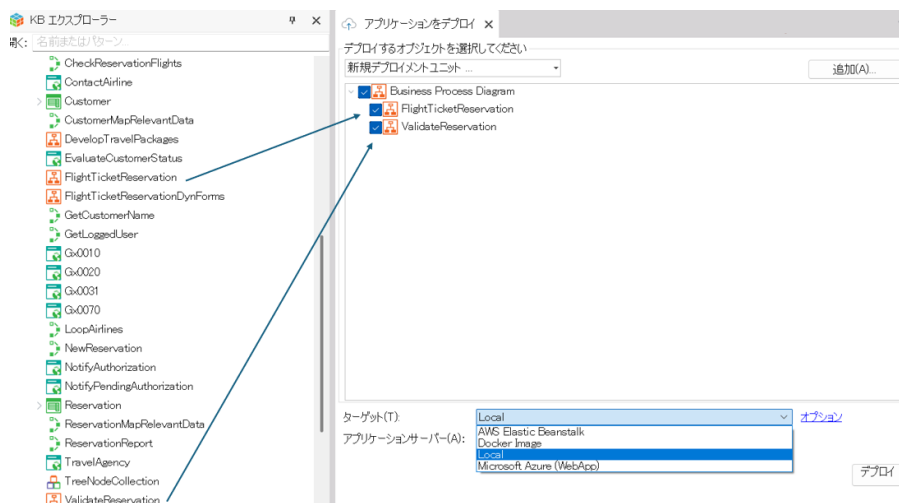
- プロセスダイアグラムのバイナリファイルとその依存関係の展開
- データベースファイルとプロセス定義メタデータの展開
- ライセンス

バイナリファイルのデプロイ

GeneXus は、コンパイルされたファイルをパッケージ化してアプリケーションを展開するための非常に簡単な方法を提供します。

必要な手順は次のとおりです:

- 1) メニューバー→ビルド→アプリケーションをデプロイ: IDE にコンテキストウィンドウが表示されます。
- 2) KB エクスプローラーから各ビジネスプロセスダイアグラムオブジェクトをドラッグし、「デプロイするオブジェクトを選択してください」ウィンドウにドロップします。ダイアグラムの依存関係（WebPanel やプロシージャなど）をすべて含める必要はありません。GeneXus は、ダイアグラムのコンポーネントに関連付けられた GeneXus オブジェクトを自動的に含めますが、画面には表示されません。
- 3) オプションを設定し、「デプロイ」を押します。



GeneXus でアプリケーションをデプロイする方法の詳細については、以下を参照してください:

<http://wiki.genexus.jp/hwikibypageid.aspx?32092>

データベースファイルとメタデータの展開

この段階では、GeneXus でモデル化されたデータベース定義とプロセスメタデータが利用可能になり、ワークフローエンジンで実行できるようになります。

この操作では、データベースの再編成が必要になる場合があります。プロセスを初めてデプロイする際には、ワークフローテーブルが作成されます。その後のデプロイでは、GXflow の新しいアップグレードまたはバージョンを使用する際にも、再編成の実行が必要になる場合があります。これらの再編成はすべて、事前にユーザーの承認を求めることで自動的に実行されます。

ビジネスプロセスデプロイツールを使用すると、新しいビジネスプロセスを追加したり、既存のビジネスプロセスを変更したりすることで、運用データベースに影響を与えることができます。

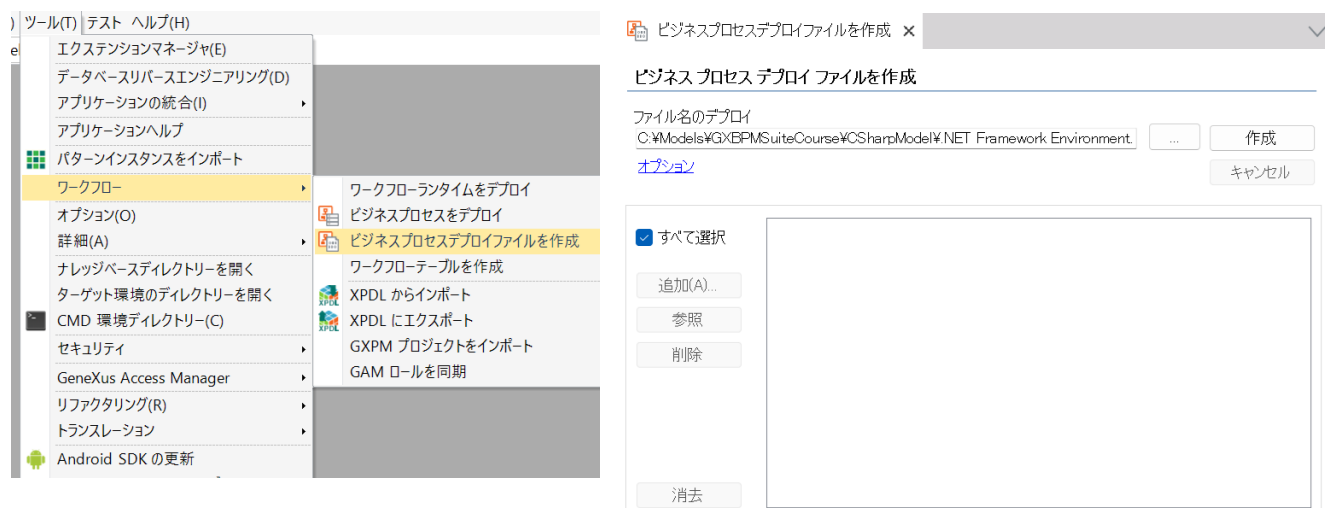
デプロイ中に実行されているプロセスは影響を受けません。影響分析後に作成されたプロセスのみが変更を反映します。

必要な手順は次のとおりです：

ビジネスプロセスデプロイメントファイルの作成

IDE でメニューバー→ツール→ワークフロー→ビジネスプロセスデプロイファイルの作成を選択します。

これにより、「.bpd」拡張子のファイルが生成されます。



この操作の結果、次の内容を含むファイルが作成されます:

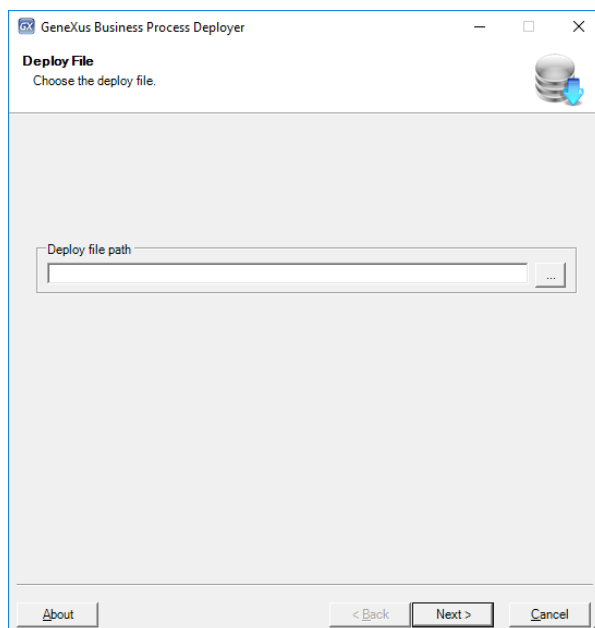
- GeneXus でモデル化されたプロセスの定義
- プロセスのデプロイメント前に必要となる可能性のあるすべての再編成（テーブル作成とアップグレードの再編成）。これらの再編成は、GeneXus で使用されているプラットフォーム用に既に生成およびコンパイルされています。そのため、デプロイメントファイルは作業中のプラットフォームに対応しています。つまり、.NET SQL Server 環境用に作成されたファイルは、MySQL データベースへのデプロイメントには使用できません。

データベースへの影響とメタデータの更新

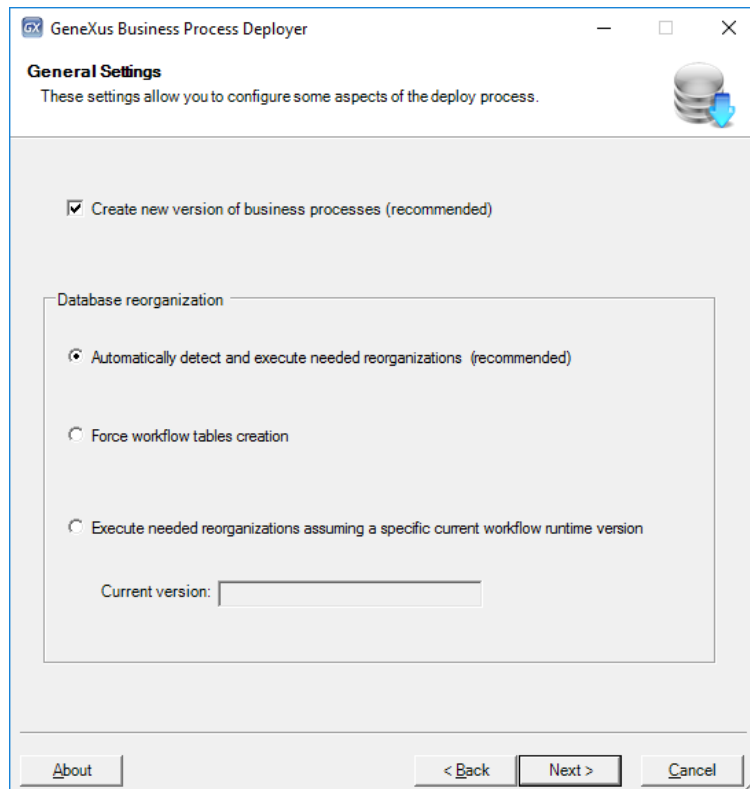
デプロイメントファイルが作成されると、「GeneXus Business Process Deployer」ツールを使用してデータベースに影響を与え、メタデータを更新します。

このツールは、ダウンロードセンターにある [GXflow Production Environment](#) パッケージに含まれており、ライセンスは必要ありません。

前の手順で生成された「.bpd」拡張子のファイルを選択し、「次へ」をクリックします。



次に、以下の設定を検討する必要があります：



1. **チェックボックス : Create new version of business processes (recommended)**

このオプションを使用すると、デプロイメントファイルに含まれるプロセスが新しいプロセスインスタンスから考慮されるように設定できます。現在実行中のプロセスインスタンスは、作成元のプロセス定義に基づいて引き続き実行されます。

2. **ラジオボタン : Database reorganization**

a. **Automatically detect and execute needed reorganizations (recommended)**

GeneXus で生成されるデプロイメントファイルには、これらのプロセスが作成されたバージョンが含まれており、本番環境データベースには独自のバージョンがあります。このオプションを使用すると、本番環境データベースをダイアグラムに示されているバージョンに移行するために必要な再編成が自動的に行われます。

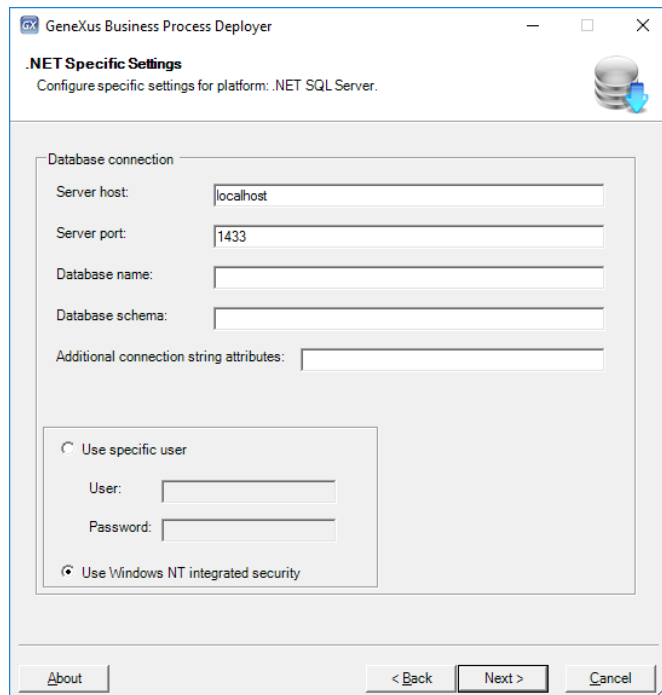
b. **Force workflow tables creation**

このオプションを使用すると、ワークフローテーブルの作成を強制できます。

c. **Execute needed reorganizations assuming a specific current workflow runtime version**

このオプションを使用すると、特定のバージョンを指定できます。これにより、本番データベースのバージョンは無視されます。

次に、本番データベースの詳細を設定する必要があります。



The screenshot shows the 'GeneXus Business Process Deployer' window with the title '.NET Specific Settings'. Below the title is the instruction 'Configure specific settings for platform: .NET SQL Server.' and a database icon. The 'Database connection' section contains the following fields:

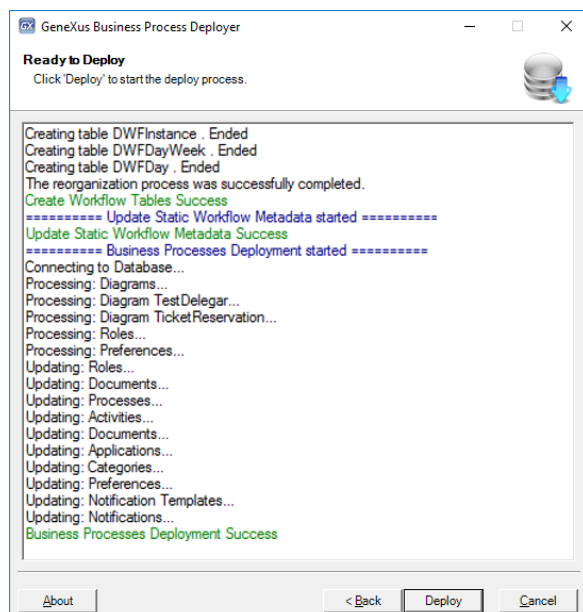
- Server host: localhost
- Server port: 1433
- Database name: (empty)
- Database schema: (empty)
- Additional connection string attributes: (empty)

Below these fields is a group box with two radio buttons:

- ☐ Use specific user: This option is disabled, and its sub-fields (User and Password) are also disabled.
- ☒ Use Windows NT integrated security: This option is selected.

At the bottom of the dialog are buttons for 'About', '< Back', 'Next >', and 'Cancel'.

最後に、プロセスがデブロイされます。最初にワークフローテーブルが作成されます。次に、プロセスが GeneXus の新しいバージョンにアップグレードされると、本番環境データベースのワークフローテーブルを更新するために必要な再編成が行われます。



The screenshot shows the 'GeneXus Business Process Deployer' window with the title 'Ready to Deploy'. Below the title is the instruction 'Click 'Deploy' to start the deploy process.' and a database icon. The main area contains a log of the deployment process:

```
Creating table DWFinstance . Ended
Creating table DWFDAYWeek . Ended
Creating table DWFDAY . Ended
The reorganization process was successfully completed.
Create Workflow Tables Success
===== Update Static Workflow Metadata started =====
Update Static Workflow Metadata Success
===== Business Processes Deployment started =====
Connecting to Database...
Processing: Diagrams...
Processing: Diagram TestDelegar...
Processing: Diagram TicketReservation...
Processing: Roles...
Processing: Preferences...
Updating: Roles...
Updating: Documents...
Updating: Processes...
Updating: Activities...
Updating: Documents...
Updating: Applications...
Updating: Categories...
Updating: Preferences...
Updating: Notification Templates...
Updating: Notifications...
Business Processes Deployment Success
```

At the bottom of the dialog are buttons for 'About', '< Back', 'Deploy', and 'Cancel'.

ライセンス

アプリケーションをサーバーにデプロイする準備ができたなら、そのプロテクションを更新する必要があります。つまり、正しいライセンスの手順に従う必要があります。

1. GXflow 本番環境をインストールする
2. GeneXus Protection Server をインストールし、ライセンスを申請する

GeneXus15 アップグレード 8 以降では、新しい GXflow ライセンススキームが導入され、ライセンスの設定が非常に簡単になりました。また、プロセスはどのプラットフォームでも同じです。

古いバージョンをお持ちの場合は、以下のリンクの「プロテクション設定」セクションの手順に従ってください。

<http://wiki.genexus.jp/hwikibypageid.aspx?19848>